

寒くなってくると、家族が集まってくつろぐ空間に温もりが欲しくなってきますよね。
家具は同じでも、小物や雑貨を温かみを感じる色や素材に変えるだけで、一気に冬仕様のインテリアに模様替えできます。
中でもハンドメイドのアイテムは、ナチュラルで優しい印象をインテリアに添えてくれます。
手作りだと作る過程も楽しめるうえに気軽に使えて一石二鳥。
今回の特集では、あると重宝する冬小物や、すぐに実践できるクリスマスインテリアの作り方ををご紹介します。

お家で過ごす時間が長くなる季節。
手作りのあるインテリアを楽しんでみませんか？

撮影= 堅山 哲 Satoshi Tateyama
文= 中西 理恵 Rie Nakanishi

〈特集〉

Handmade for winter

手作りで冬じたく



「KNOT DURAS」ラグ、ダールグレイ(200×200cm) ¥143,000。
「MOON」ティーポット、ベージュ(φ10cm×14cm) ¥3,400。
「STACK MUG」/ラッドピンク、チャコールグレイ 各¥1,200。
「JENA」クッションカバー(45cm角) / マスタード ¥4,800。
「TATA」クッションカバー(45cm角) / オレンジ ¥4,400。
「AC PERCHS」紅茶 ¥1,800。
(インテリア ライフ雑貨店/すべて税別)

アームニットング (腕編み)で 編み物を始めよう

難しそうとか、時間がかかりそうなどの理由から、初心者にとっては敷居が高いイメージの*編み物。自分の腕を使って作る「アームニットング」をご存知ですか？ 必要なものは毛糸と自分の手だけ。太い毛糸を使って、ざくざくと編んでいくので1時間もあれば出来上がるのも嬉しいところです。この冬、気軽に編み物始めてみませんか？



② ループの中に矢印の方向に糸を差し入れて結ぶ。



③ 糸端から、編みたい幅の約3倍の長さのところでループを作る。



④ できた輪に腕を通す。



⑤ 糸端側の毛糸でループを作り、毛糸玉の方から糸を引く。



⑥ 編み始めの作り目できました。



⑦ 最後の輪に糸端を通して結ぶ。



⑧ 糸を継ぐときは普通の固結びに二回糸をくぐらせればOK。



⑨ テーブルなどの上に置いて、輪っかの後ろから糸を引き出して輪をつくる。同じ要領で、編みたい大きくなるまで繰り返す。



⑩ 最後の輪に糸を引き抜き、余った糸は網目のなかに伏せ込んで出来上がり。



⑪ 糸を通して、新しくできた輪と隣合った輪の2つ分に糸を通すことを繰り返す。



⑫ 編み終わりは、2つ分の輪っかを手に取る。

準備するもの

・極太の毛糸(クッションカバーや小さめのひざ掛けなら2〜3玉ほど)
※太めの毛糸を何本か合わせて編むこともできます。

※糸の方向に気をつけてねじれないように編んでいきましょう。

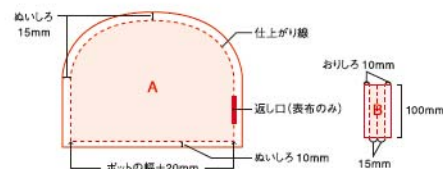


Tea cosyを作ろう

あったかいブランケットにくるまって、リビングのソファでとっておきのホットドリンクを楽しむ…。そんな時間は冬の休日の醍醐味です。でも、せっかくなれたお茶がすぐに冷めてしまって悲しい思いをしたことはありませんか？ ティーコースジは、ティーポットをすっぽり覆って冷めにくくするアイテム。また、紅茶を美味しく淹れるためにも蒸らす間の保温が大切です。あると重宝しますが、手持ちのポットの形にぴったり合うものや好みの柄では、なかなか見つからないもの。ならば手作りしてみましょう。

準備するもの

・型紙用の紙 ・キルティング生地(内布) ・表布 ・接着芯 ・ティーポット



① 型紙をつくる。
紙を半分に折って手持ちのティーポットの中心に合わせ、紙をポットに沿わせながらポットの幅、注ぎ口、持ち手、蓋の位置に鉛筆などで印をつける。ポットの横幅に20mmを足し、縫い代15mmをとる。高さは下に10mm、上に15mm程度の縫い代をとる。(A) 持ち手用の型紙(B)も作っておく。



② 表布に接着芯を貼る。



③ 持ち手をつくる。
折しろに合わせてアイロンをかける。端を縫う。



④ 型紙に合わせて切る。表布、内布、接着芯、持ち手をそれぞれ型に合わせて切り取る。



⑤ 内布も表布わせにして仕上がり線どおりに縫う。(内布は返し口はなし)内布だけ表に返して表布と内布同士が表合わせになるように合わせる。



⑥ その際、返し口を5cm程度縫わずに開けておく。



⑦ 接着芯を貼った表布を表合わせにする。持ち手を二つ折りにし、ティーコースジの頂点に、開いた方を外側にして表布で挟みこみ、縫を縫う。



⑧ 表布の中に内布を納め、返し口をまつり縫いして出来上がり。



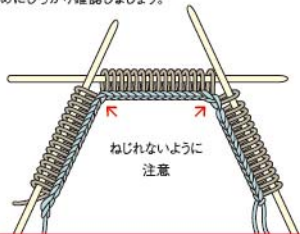
⑨ 返し口からひっくり返す。



⑩ 下をぐるりと縫う。

〈注意点〉

作り目の結び部分をすべて内側に整えます。さらに針と針の間のつなぎ目にねじれがないか編み始めにしっかり確認しましょう。



① 3本の棒に分けたところ。
※どの針が14目になって大丈夫です。



② 作り目を3本の針に15目、15目、14目に分ける。

早速、編み始めよう!



③ 次に裏目で2目編みます。



④ ここでは2目ゴム編み(①)で編みます。まず表目で2目編みます。

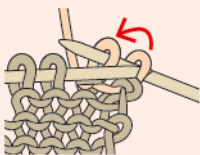


⑤ 作り目の最後の一目から作り目の最初の一目の上に編む形となります。

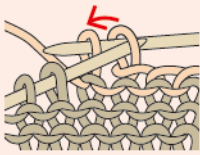
編み終わり(目の止め方)

表で終わる場合、表目で、裏で終わる場合裏目の止め方を使います。

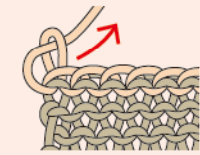
〈裏目〉



端の2目を裏目で編み、1目めを2目めにかぶせる

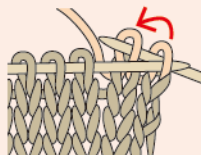


裏目で編み、かぶせるのを繰り返す。

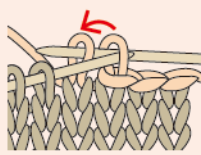


最後の目は引き抜いて、糸を締める。

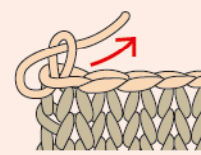
〈表目〉



端の2目を表目で編み、1目めを2目めにかぶせる



表目で編み、かぶせるのを繰り返す。



最後の目は引き抜いて、糸を締める。

① 2目ゴム編み

表目と裏目を縦に2目ずつ交互に編みます。

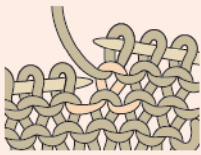
〈裏目〉



裏目は裏を見て編みます。糸を手前に置き、左針の目に向こう側から右針を入れる。



右針に糸をかけ、矢印のように引き出す。



引き出しながら左針から目を外す。

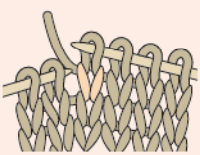
〈表目〉



糸を向こう側におき、左針の目到手前から右針を入れる。



右針に糸をかけ、矢印のように引き出す。



引き出しながら左針から目を外す。

① 糸端を毛糸用針に通して、編み目に巻き付けるように5~6目程度糸をくぐらせて出来上がり。

棒針4本を使って アームウォーマーを 作ってみよう



アームニットで編み物に慣れてきたら、本格的な棒編みにチャレンジしてみましょう。棒編みは、アームニットに比べると細かい作業が多く、時間もそれなりにかかります。しかし、コツコツと編み進めていけば、1本の糸がどんどん形になっていく面白さと達成感が味わえます。家族とおしゃべりしながら、時には黙々と集中して、好きな時にマイペースで編み進めてみてはいかが? ちょっとだけレベルアップして、棒針4本を使って作るアームウォーマーをご紹介します。

準備するもの

・10号棒針(頭の留めがないもの)4本 ・並太の毛糸2玉(片手1玉で編むことができます。) ・毛糸用針(最後の糸始末に使います。)

まず2本の針を使って、作り目を作ります。



① できたループを棒にかける。



② 輪の中から毛糸を引き出す。



③ 毛糸で輪っかを作る。



④ 糸を引き出す。



⑤ 1目めにもう1本の棒を入れ、糸をかける。



⑥ 糸端を引っ張って輪を締める。これで1目できました。



⑦ これを繰り返して44目作る。



⑧ 移した目が2目めとなる。



⑨ 引き出した糸を左の棒に移す。



巻くだけ簡単! 毛糸玉のリース

ぐるぐる毛糸を巻きつけて作った毛糸玉を、可愛いクリスマスリースに仕上げました。リースは難しい感じがしますが、並べてグルーガンで固定するだけ。ふわふわとした毛糸のボールが、何とも優しい雰囲気です。材料はすべて100均で揃います。

準備するもの

・毛糸(色はお好みで。太めの方が巻きやすい) ・新聞紙やキッチンペーパー、ティッシュ
 ・リース土台(ダンボールを丸く切って代用することもできます) ・フェイクグリーン ・グルーガン ・手芸用ボンド ・両面テープ
 ・ビーズや松ぼっくりなどの装飾 ・リボン(20cm程度)

- ① 作りたいリースの大きさをカバーできる個数+α作る。
- ② できた毛糸玉を一度リースの上に置いて、色や大きさのバランスをみる。
- ③ 毛糸玉をリースにグルーガンで貼り付ける。火傷に注意!
 (まず大きい毛糸玉を配置してから貼り付けていくとよい。小さめのものを円の外側につけると、動きが出てバランスを取りやすいです。)
- ④ 隙間にビーズや松ぼっくりなどの飾りをつける。
- ⑤ リボンをリボン型に結び、グルーガンで固定して出来上がり!
- ⑥ リース土台にフェイクグリーンを巻きつけてグルーガンで固定する。
- ⑦ 新聞紙やキッチンペーパー、ティッシュを丸めて、毛糸玉の芯を作る。
 (使う紙と大きさによって、毛糸玉の大きさが決まります。)
- ⑧ 丸めた紙の周りに、毛糸が張り付きやすいよう両面テープを貼る。
 (綺麗な球にならなくても大丈夫です。大体球体に丸めましょう。)
- ⑨ 毛糸の端を球に貼り付けて、そこを軽く押さえながら巻きつけていく。
 (丸い形になるように意識しながら巻きます。)
- ⑩ 巻き終わりは手芸用ボンドで毛糸玉に貼り付ける。



【教えてくれた人】松山 幸奈さん

印刷会社に企画として勤務後、上京。革や織物はまたま出版の仕事に携わりながら、編み物やミン仕事、保存食作りなど1人で出来てくらしの質を少し向上させるもの作りに取り組み。出産を機に鹿児島に戻り、現在はライターやイベント企画をしつつ、4歳と1歳のこどもたちと向きあう日々。手仕事の時間をどれだけ共有できたらいいなという思いから自宅で「手で作る会」を始める。

「手で作る会」/手や頭を動かして、くらしの中で使えるものをつくる時間として、月一回2時間程度、自宅やコミュニティスペースにて開催。各自作りたいたいものや材料を持ち寄り、思い思いに作業をします。1人も良いけど、誰かがいると作業が進む手仕事の楽しさを味わいましょう。開催日程や場所はインスタグラム(mykn0518)でお知らせしています。※ヤマサハウスの開催も検討中ですので、決定次第お知らせします。

クリスマスオーナメントも ハンドメイドで

街中が、クリスマスツリーやイルミネーションで彩られる季節になりました。今年の飾りは、ハンドメイドであなたらしく特別なものにしてみませんか? 家族でワイワイ楽しみながら作ると、より心温まるクリスマスを迎えられるそうです。



石粉粘土でつくるオーナメント

100均でも手に入る石粉粘土を使って、おしゃれで素敵なオーナメントを作ってみませんか? コニファーの枝に下げれば、家族やお客さんが行き交う玄関などのクリスマスディスプレイにもぴったりです。石粉粘土で作ったオーナメントは、アロマオイルを垂らして、ふんわり香りを楽しむアロマストーンとしても使えます。

準備するもの

・石粉粘土 ・リボンや紐 ・穴あけ用のストロー ・抜き型 ・クッキングシート ・麺棒 ・スタンプやレース、布など(柄付け)

- ① 石粉粘土を、クッキングシートの上で平たく伸ばす。
- ② お好みの型で抜く。
- ③ レースや布、スタンプなどで型押しして柄を入れる。
- ④ ストローでリボンを通す穴を開けて乾燥させる。
- ⑤ 乾いたらリボンを通して出来上がり。

